

特別活動（学級活動） 学習指導計画	
小学校	
指導者	
単元 （題材）	<p>あるまとまりをもった教育内容の単位の名称を書く。</p> <p>例えば、「学級づくり」「係活動について」「給食のマナー」「歯の衛生」など、一つのテーマを基準にする。</p>
単元 （題材） 設定 の理由	<p>児童の実態（地域や学校の実態も含む） 既習事項の定着度，児童の興味・関心・意欲，題材に関する知識・技能，その他の配慮事項など</p> <p>教師の願い（指導の概略，指導内容，目指す生活像） 指導・支援の力点，指導の形態，仮説，その他の配慮事項など，児童のよさや可能性を生かすような工夫や手だて</p> <p>児童の発達，経験，意欲等の実態を踏まえるとともに，単元の系統性をおさえて具体的に書く。</p> <p style="text-align: right;">[指導者の立場で書く]</p>
目 標	<p>単元の目標 単元全体の指導を通じて児童に形成させよう（身に付けさせよう）としている目標を，学習指導要領と関連付けて具体的に記述する。</p> <p>単元の評価規準 各学校によって，児童に育てたい資質や能力が異なるため，各学校が評価の観点や評価方法を開発し，創意工夫を生かして評価活動を行う必要がある。</p> <p>特別活動の評価に当たっては，児童の良い点や進歩の状況などを積極的に評価するとともに，指導の過程や成果を評価し，指導の改善を行い学習意欲の向上に生かすようにすることが重要である。</p> <p>評価の観点の例 「特別活動」の目標を踏まえた観点 各学校の定める目標，内容に基づく観点</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>評価の観点を踏まえて具体的な目標を立てる。 児童の発達段階を踏まえ，学習経験とつながりを持たせて書く。 適切な評価ができるように，精選して簡潔に書く。</p> </div> <p>文章表現の例「～を理解する。」「～を身に付ける。」「～を養う。」など。 [児童の立場で書く。ただし指導者の立場で書く例もある]</p>
事前指導	<p>単元（題材）設定の理由のもとに，本時の活動の目標が個々の児童に対して達成することができるように，アンケートの実施など，本時の活動に入るまでの事前指導について具体的に記述する。また，総合的な学習の時間，各教科，児童会活動，学校行事等との関連を図る。</p>
事後指導	<p>本時の評価をもとに，本時の活動が個々の児童の成長に生きるものとなるよう，事後の指導を位置づける。</p>

単元指導計画案例

段階	学習活動・内容	教師の支援	評価規準
1 2 (1) (2) : : 3 : : :	<p>学習過程に沿って 児童の活動を書く。</p> <p>一人一人の児童が何を 目当てに活動すればよいのかを つかめるように具体的に書く。</p> <p>- 児童主体 - ~を確かめる。 ~に気付く。 ~を知る。 ~を考える。 ~を発表する。</p>	<p>学習活動・内容に沿って、 指導・支援の意図・重点、 工夫、などについて留意すべき ことを具体的に書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予想される児童の反応</li> <li>・児童一人一人の学習進度に 応じた手だて</li> <li>(1) ・児童が主体的な学習を進 める手だて</li> <li>(2) ・資料提示の機会や方法</li> <li>・効果的な学習方法や学習形 態の工夫</li> <li>・準備物等</li> </ul> <p>学習活動と教師の支援とのか かわりを対応させて書く。</p> <p>- 教師主体 - ~を示す。 ~を見せる。 ~を問う。 ~雰囲気をつくる。 ~意識を高める。 ~を評価する。 ~の場を設定する。 ~助言をする。</p>	<p>本時の学習目標との整合を取 る。</p> <p>評価規準（何をどのように評 価するか）を具体的に書く。</p> <p>評価の観点を踏まえて書く。</p> <p>自己評価や相互評価、その規 準にも触れる。</p> <p>評価方法も書く。</p> <p>観察（行動、発言等）、ノ ート、報告書、感想文、自 己評価カード 等</p>

学習指導案の作成に当たって

固定的な書式はなく、指導者が自分の考えや提案を具体的に表現できることが大切である。ただし、少なくとも、次の点は学習指導案から読み取れるようにしたい。

- 1 指導者が学習内容及び児童をどう理解して、授業を計画しているか。
- 2 全体の指導計画の流れの中で本時はどのように位置付けられているか。他の指導項目（単元）や教科・科目等との関連は何か。
- 3 本時、児童の学習活動はどのように予想され、具体的にどのような手だてがなされているか。
- 4 授業の中に評価がどのように位置付けられているか。児童を生かす具体的な手だては何か。

## 年間指導計画の作成

- 1 特別活動の指導計画の作成に当たっては、当該学校の学校教育目標を具現化するための役割と教育課程上の位置づけを明確にし、発達段階、学級経営、地域との連携などとの関連を図った上で、年間の指導計画を作成する必要がある。
- 2 学級活動における指導計画には、特別活動の全体の指導計画を受けた「年間指導計画」、年間指導計画を基盤に作成される「学級ごとの年間指導計画」と、「1単位時間の指導計画」などがある。学級活動の年間指導計画は、児童会活動、学校行事、総合的な学習の時間、道徳、各教科の指導と有機的な連携を図る必要がある。
- 3 学級活動の「1単位時間の指導計画」は、特別活動の年間指導計画を踏まえ、その目標を具現化するために、児童会活動、学校行事、総合的な学習の時間、道徳、各教科の指導等と連携を図り、1単位時間の目標を設定し、指導計画を立てる。

### 学級活動の年間指導計画の例

月	題材	活動内容		指導のねらい	活動内容	資料等
		1	2			
4	学級開き			<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい学級にするために共通の目標を考えさせる。</li> <li>・学級の組織や係などを決めさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級の目標を決める。</li> <li>・学級の係や役割分担を決める。</li> </ul>	
4	給食について			<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の意義を理解させ、望ましい食習慣を身に付けさせる。</li> <li>・給食の決まりやマナーを身に付けさせる。</li> </ul>		